

一般会計補正予算など 29議案すべて可決

新病院建設費抑制のため設計CM費 700万円

建築資材費や労務費の高騰のあおりを受け、新病院建設費がふくれあがった。その建設費抑制のため、設計コンストラクションマネジメント(以下CM)委託料700万円が計上され、賛成多数で可決した。

CM費が計上されるまでの経緯

時 点	金 額
平成25年度当初予算	22億3千500万円
7/12環境福祉常任委員会	29億8千494万円
7/29全員協議会	26億787万9千円
9/19環境福祉常任委員会	約24億円

〈質 疑〉

問 現時点の新病院建設費の計画は。

答 24億円程度である。

問 どの程度まで抑える予定か。

答 CMが入ってからの減額率は、通常平均8%から12%と聞いている。

問 25年度当初予算の22億3千500万円まで抑えることが目標の一つであるが、それ以上に抑えられることを期待している。

問 新病院設計時点でCMを導入しなかった

答 のはなぜか。設計時だと期間が長くなり、調査した結果約4千万円程度が必要だった。

問 設計変更があった場合、どの程度費用がかかるか。

答 全体計画を変更するわけではない。部分的な変更となるので、現在の実設計の5千万円まではかからないと予想している。

問 CMを導入するのでなく、設計会社との協議で建設費を抑えられないか。

答 設計業者は資材の見直しはできる。しかし、専門業者が入ること、違った視点からの減額案ができることで、設計会社が考えている以上の建設費抑制が見込める。

〈討 論〉

反対

CMを導入するならば初に導入すべきであった。また、CMを行った後、設計変更があった場合はさらに設計費が必要になる。設計会社に建設費を抑制させるべきだ。

賛成

社会の諸事情により、事業費が高額となっているので、設計会社とは別の専門業者に建設費抑制をしてもらう必要がある。また、新たに設計費が必要になっても、それ以上の効果が期待できる。

※設計コンストラクションマネジメント

建築主の立場になって建築工事のコストダウンや品質改善に取り組むサービス

下水道使用料が値上げ

下水道使用料を引き上げる(平成26年1月から)条例改正案が上程され、賛成多数で可決した。

答 現行でも平均使用量20㎡と比較すると県内15市中最も高い。

問 料金値上げの理由は。

答 下水道事業は赤字経営が続く。一般会計から多額の繰り入れをしている。また、節水志向の高まりで、市民の利用水量が減り、前回の料金改定時の目標単価1㎡当たり200円が186円に下がってきている。受益者負担の原則からも、1㎡当たり14円の値上げをお願いしたい。

〈討 論〉

反対

節水した部分を値上げ幅としている。本来節水は評価すべきものであり、値上げ理由が矛盾している。

また、28年度には、一般会計からの繰り入れは11億円まではねあがる見込みである。今すべきは、財政再建を目的とした下水道事業計画の抜本的な見直しであり、料金改定の議論は、再建計画が示されてからするべきである。

〈質 疑〉

問 今後整備されていない地域への対応は。

答 NTT等、光ブロードバンドのサービス事業者に要望を重ねていく。

下水道使用料の比較

使用量	現行料金	新料金
6㎡	1,029円	1,155円
20㎡	3,528円	3,727円
50㎡	9,408円	9,870円
500㎡	121,233円	130,021円

〈質 疑〉

問 他市と比べどうなのか。

答 今回の料金値上げで年間約1千200万円の増額。

長島・裳掛エリアに光ファイバー 6千万円

長島愛生園、邑久光明園の将来構想に基づき、国と両園が連携し、長島エリアを含む邑久町虫明、福谷、庄田地区に光ファイバーを整備する予算6千万円(国から4千万円の補助)が提案された。

図書購入費に 760万円



せとうちまーる号

購入予定書の内訳

児童書	1,500冊
物語	1,000冊
図鑑	1,750冊
一般書	820冊
合計	5,070冊

新図書館用の図書約5千冊購入に、約760万円が計上された。

〈質 疑〉

問 なぜこの時期に本を購入するのか。

答 新図書館に向けて、まず児童書を中心に整備する。

丁寧に本を選ぶため、段階的に取りそろえ、良い本を市民に提供したい。

問 購入した本はどのくらいか。

答 移動図書館車「せとうちまーる号」に1千500冊程度載せ、現在巡回している幼稚園・保育園でも利用できるようにする。

残りは教育委員会や中央公民館の倉庫に入れ、一部劣化した本と入れ替える。

応急対策費と災害復旧費 7千万円

応急対策費と災害復旧費一覧表（工事請負費及び委託料）

工事場所等	工事費等
崩土撤去等応急対策委託料	3千250万円
市道飯井10号線外6路線工事費	2千450万円
市道殿畑1号線外5路線工事費	230万円
土師地内農道設計等委託料	70万円
牛文地内農道設計等委託料	
長浜西浦地内水路工事費	1千万円
牛文地内水路工事費	
牛窓中浦地内農道工事費	
上笠加地内農道工事費	
畑総8号支線農道工事費	
合計	7千万円

8月25日および9月3日から4日の豪雨災害と、9月15日から16日の台風18号による災害に対して、応急対策費と災害復旧費7千万円が予算計上され、全会一致で可決した。



鹿忍地区市道池ノ奥長尾線災害現場（9月3・4日豪雨）

牛窓まちなか防災協働訓練に 110万円

地震による津波、高潮災害の危険性が高い牛窓地域での、「まちなか防災協働訓練」の予算約110万円が計上された。

〈質 疑〉

問 牛窓地域だけの事業になるのか。

答 ひとつのモデル的なものとして取り組みたい。

問 市全体として考えられないか。

答 地域の安全や防災に対する意識が高まり、自主防災活動が市全体に波及し、活性化することをめざしていく。

せとうちデジタルガイドマップに 200万円

市が保有するデータをベースに、地域住民とワークショップ形式で作成する「せとうちデジタルガイドマップ」に200万円が計上された。

〈質 疑〉

問 詳細は。

答 ホームページだけでなく、スマートフォン、タブレットからでも歩きながら地域の写真や地図、コメントを閲覧できるシステムを構築する。

「朝鮮通信使瀬戸内大会」開催に 160万円追加

11月2日から3日に予定されている「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 瀬戸内大会」に160万円が追加計上された。

〈質 疑〉

問 160万円の詳細は。

答 韓国から郷土芸能を学んでいる中学生を招き、邑久中学校の生徒部の生徒と交流を図るための経費と、3日は、瀬戸内市産業まつり「キラリンフェスティバル2013」、瀬戸内牛窓国際交流フェスタ「朝鮮通信使行列」の再現もあり、その安全対策費等である。



朝鮮通信使行列の再現風景

陳情審査

● 国立ハンセン病療養所の職員削減を行わず医療・看護・福祉の充実を求める陳情書を採択（全会一致）

一般質問

竹原 幹

1. 職員採用について
2. 市民病院の建て替えについて

3. 尾ノ村東谷線、豆田工業団地造成事業計画について
4. 角口第一
1. 耕作放棄地対策について
2. 防犯・防災対策について
3. 医療体制の整備について
4. 市民憲章について
5. 錦海塩田跡地活用について
6. 瀬戸内市のPRについて

1. 市政への取り組みについて
2. (仮称)耕作放棄地対策等再生条例をつくり取り組んで
3. 年若い元気に生活できる政策について
4. 過疎化対策としてモデル地域指定することについて
5. 場外馬券場について

1. 高齢者福祉の充実について
2. 子どもと子どもを取り巻く環境の充実について
3. 教育環境の充実について
4. 道の駅「一本松」について
5. 瀬戸内市の教育について
6. 熱中症予防対策について
7. 軽度発達障がい児の支援について

1. 行政のスリム化について
2. 職員の質の向上について
3. 地場産業の育成について
4. 錦海塩田跡地のその後について

1. 瀬戸内市の教育について
2. 熱中症予防対策について
3. 軽度発達障がい児の支援について

1. 県道脇雑木の伐採について
2. 通学路の整備について
3. 教育関係施設の整備について

1. 危険管理について
2. 災害対策基本法改正後の避難対策について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 明日の瀬戸内市を担う中学生に誇りと自覚を持たせる施策について
2. 学校、スポーツ少年団における体罰について
3. 文化防災体制の万全について
4. 下水道施策の現状と今後の方向性について
5. マイナンバー制導入に伴う電算システム更新について
6. 定期観光バスの運行について

1. 本市における農業振興法について
2. 錦海塩田跡地利用計画について
3. 市のマスコットキャラクター「セツトちゃん」について

1. 国民健康保険特別会計の財政運営について
2. 錦海塩田跡地活用計画について

1. 新病院建設について
2. 牛窓診療所について
3. 副市長人事について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

1. 美しい森の運営について
2. 学童保育の運営について
3. 幼稚園、小・中学校の休園・休校について

1. 今後の下水道行政について
2. 市内循環バスの計画について
3. 特別警報への対応について

竹原 幹

1. 建築技師を採用すべきではないか
2. 業務量を考慮しながら検討したい

市には建築技師が一人もいない。計画中の新図書館や市民病院を進めていくにも、また、通常の修繕工事にしても、業者の言いなりならざるを得ない。建築技師を採用すべきでは。

必要であるとは認識しており、業務量を考慮しながら検討したい。

市民病院の建設費が40億円の時の試算でも、現在の病床稼働率61・5%を90%にし、収益を1・6倍に持つていかないと経営が成り立たず、30億円を超える借金は、自転

建設を決めた段階と比べて、非常に厳しい状況になってきている。投資額をいかに抑えていくか、今一度改めて考え直さなければいけないと認識している。

今こそ、民間病院の助けを求められないかと考えるがどうか。

指定管理者に出した場合、不確定要因が大き。職員の退職金の問題もある。

無駄をなくして前向きに検討

公共の施設、及び土地の有効利用は。①学校給食調理場の民営化は。②長船支所、長船町公民館、長船分駐所を、ゆめトピアへ統括しては。

②の長船支所、長船町公民館、長船分駐所も財政健全化の面からも前向きに検討する。

地場産業の育成について、市内の商業者を最優先に取り組む事により、雇用も税収も上がるのでは。

地元を最優先に考えていきたい。

錦海塩田跡地工事にも、地元商工業者の活用を最優先に考えているのか。

錦海塩田跡地工事の後に、10月から工事に入ると聞くと、借地料はいつから市に入るのか。

契約ができて、工事に着手する段階で効力が発生すると認識している。

錦海塩田跡地工事にも、地元商工業者の活用を最優先に考えているのか。

事業者に対し、極力市として配慮を依頼していきたい。

目下 敏久

問 場外馬券場建設の現状と今後は

答 来年11月に完成予定

問 全く進展していない状況であるが、どうなっているのか。

総合政策部長 運営会社を新たに設立し、事業化して来年11月に完成予定と聞いている。

また、工事着手前に、地元住民や関係者への説明会を行うように指示していると聞いている。

問 市長2期目の市政への取り組みは。

市長 財政の健全化と瀬戸内市での暮らしの魅力向上の両方を行い、住みやすいと思うまちを引き続き作っていき

たい。

問 耕作放棄地の田畑を市が一時保有し、新規就農者や耕作面積を増やす条例作りは。

産業建設部長 国が取り組んでいる対策や制度を最大限活用し、必要なら条例化も検討したい。

問 年若い元気に生活できる政策で、中央公民館やゆめトピアで開かれる教室への交通手段として、デマンドバス利用を行っているか。

総合政策部長 現在牛窓では実例があるので、今後研究したい。

問 尻海地区塩田跡地周辺を過疎対策モデル地域指定し、土地の活用を。

市長 メガソーラー事業着工後に検討したい。

平原 順二

問 行政のスリム化について

答 無駄をなくして前向きに検討

公共の施設、及び土地の有効利用は。①学校給食調理場の民営化は。②長船支所、長船町公民館、長船分駐所を、ゆめトピアへ統括しては。

②の長船支所、長船町公民館、長船分駐所も財政健全化の面からも前向きに検討する。

地場産業の育成について、市内の商業者を最優先に取り組む事により、雇用も税収も上がるのでは。

地元を最優先に考えていきたい。

錦海塩田跡地工事にも、地元商工業者の活用を最優先に考えているのか。

錦海塩田跡地工事の後に、10月から工事に入ると聞くと、借地料はいつから市に入るのか。

契約ができて、工事に着手する段階で効力が発生すると認識している。

錦海塩田跡地工事にも、地元商工業者の活用を最優先に考えているのか。

事業者に対し、極力市として配慮を依頼していきたい。



新病院外観イメージ図

川野 泰一

問 新図書館が教育費を圧迫しないか

答 圧迫しないよう配慮していきたい

問 新図書館を建設することで、学校教育現場の予算が削られることはないか。

教育長

学校教育の予算は、圧迫しないと考えている。

市長

図書館につき込むために学校教育費を削ることのないように、十分配慮していきたい。

問 邑久スポーツ公園に、多目的グラウンドを新設してはどうか。

教育次長

多額の予算を伴うこともあり、今後スポーツ推進審議会等で検討

していきたい。

問 尾張・本庄地区内の危険箇所がある。補修等どう考えているのか。

産業建設部長

確かに危険であると認識している。用地買収が必要なので、引き続き県に粘り強く要望していきたい。

産業建設部長

指摘の件も含め、緊急時、災害時に支障となる箇所は県に要望していきたい。

問 大土井、庄田、福谷、知尾、三谷池、才の峠、尻海、敷井の県道の両脇に雑木が茂っている。防犯対策上からも、伐採できないか。

防犯対策

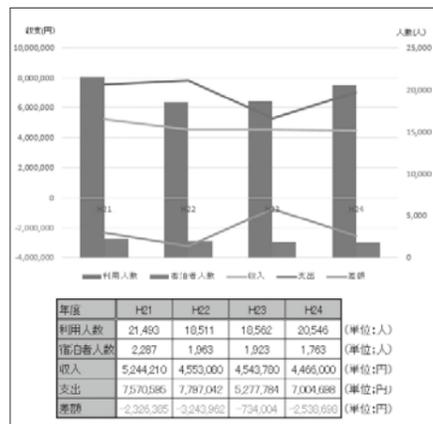


同じ場所の防犯灯 (夜間) 雑木にかくれた防犯灯 (昼間)

日下 俊子

問 美しい森の積極的な運営を

答 見直しが必要な時期。改めて検討



美しい森の利用人数と収支の推移

問 長船美しい森は、オープンしてはや

15年。今や瀬戸内市民の憩いの場・福利厚生施設として定着しているが、今では老朽化も進み、利用状況も変わってきている。ここで、老朽化対策を施し、利用料金・利用設定も見直し、積極的な運営にしてはどうか。

産業建設部長

見直しの時期だと認識している。より利益・利用率の上がる形で検討していきたい。

問 現在、学童保育の運営主体はPTA

であるが、保護者だけではとても運営ができないのが実状である。行政での運営・支援はできないか。

教育長

児童・生徒の生命の安全と保護者の安心を第一に考え、見直しをしていく。

森 俊之

問 合併浄化処理槽普及率県下一番の理由は

答 下水中心から浄化槽重視へ転換

問 未認可地区では浄化槽推進と理解するが、ならば市独自の上乘せ補助金の継続を。

市長

浄化槽推進の方向ではあるが、上乘せ補助金は当初計画どおり本年度限りで現段階では考えている。

教育長

お国自慢がきちんとでき、故郷に貢献する自覚が持てるよう今以上に取組む。

教育長

県教委の指導の下、学校では講習会を開催しており、スポ少では今年度中に合同講習会を企画実施する。

重要文

防火体制は十分か。



県指定無形民俗文化財の唐子踊

産業建設部長

個人、小グループの観光対策は課題と理解している。費用対効果を検討しながら取り組む。

島津 幸枝

問 国保財政は安定しているのか

答 ゆとりのある状況ではない

問 24年度予算では、国から国保会計に地方交付税措置されている財政安定化支援事業の支援金約2千442万円が計上されたにもかかわらず、一般会計から国保会計に繰り入れしなかった。理由は。

市民生活部長

国保会計は、ゆとりのある状況にはないというのが実体と認識している。平成25年3月末という時点で、黒字が見込まれたため、財政部局との申し合わせ事項に基づき、一般会計からの財政安定化支援事業の繰り入れを行わなかった。

総合政策部長

堤防強化は事業者が工事施工し、市が寄附を受ける方向で事業者

問 錦海塩田跡地の堤防機能の強化事業

の施工主及び内容は。また、国・県への管理移行は。

と交渉を進めている。強化内容は、支持ぐい式の防潮堤設置を検討。国・県への管理移行の要望は、県への協議を重ねているところ。海岸法に基づく海岸保全区域に指定され、国からの財政支援がなされるよう取り組んでいく。



錦海灣堤防

角口 隼一

問 市民の安全と安心のための施策を

答 関係各所と連携して善処する

問 市民の安全と子どもたちの犯罪抑止のためにも、長船駅の駐輪場に防犯カメラを増設してはどうか。

市長

効果的な箇所への設置、また設置台数などを今後考慮しながら検討していきたい。

問 南海トラフ地震が想定されるが、空き家で昭和56年以前に建てられた建物は非常に倒壊の危険性が高い。逃げる際にも危険を伴うので、これらの調査をしてはどうか。

市長

空き地や空き家の管理条例を研究していく。自主防災組織とも協力

しながら、市として最善を尽くしていく。

問 市内で平成24年中救急搬送は1579人だった。しかし、市民病院での処置は460人で29・1%だった。信頼向上も含め、市民の安全と安心のためにも改善してはどうか。

病院事業管理者

①救急車を断らない。
②消防との連携改善。
③岡山市内の大きな病院との連携改善を行うなど善処する。
現状の職員数では難しいが、市にも協力していただいで、職員の確保に向けて努力していきたい。



厚東 晃央

問 高齢者福祉の充実を

答 国の動向を見ながら、充実していく

問 年をとっても住みやすい町にしたいことは、自治体の大きな役割である。「年金が減って生活が苦しい」「これ以上負担が増えるのは困る。」などの高齢者の声を聞いている。

市長

国では、介護保険の改定が計画され、要支援1・2への支援は自治体の責任となる方向が示されている。市として高齢者福祉の充実はどうしていくのか。

重に対応していく。高齢者に対して、負担が増えるようなことにつながらないように、国・県への要望をしていく。

保健福祉部長

介護予防事業および高齢者の見守り、配食などの生活支援サービスの確保や介護用品の支給など、支援策の充実をはかりながら、介護の負担軽減をしていく。

保健福祉部長

国の動向を見ながら、市民にとって負担や不安がないようにしていく。
また、サービスの低下にならないように慎



布野 浩子

問 教育の質の向上に対する手立ては

答 一人でも多くの教員獲得に努める

問 全国学力テストの結果をどう生かすか。

教育長

アンケートでは「学校」「自分」「地域」の調査に対し、市内子どもたちは「学校生活を楽しくしている」「自分を肯定的に捉えている」「地域の人々が子どもたちと関わってくれている」という結果が出た。教育環境は素晴らしいと思う。子ども一人の能力を伸ばすよう力を注いでいく。一方学力テストの正答率では、秋田県の子どもと5%以上離されている。秋田県が採用している方法を参考に、点数を上げるよう努力

する。

問 教育委員会は、家庭での学習にどう関わるのか。

教育長

学校のサポート、保護者への啓発をしている。また、新図書館には、読書はもちろん学習するスペースを作り、落ち着いて学習できる環境を整えていく。さらに学校支援地域ボランティアに協力していただき、学校や公民館などで宿題などができる場を提供する取り組みも考えている。



“わかった”の積み重ねを

問 面白い授業をしてもらうための手立ては。

教育長

子どもにとって1時間1時間の授業の積み重ねは重要。文科省で優秀教員表彰された講師に実際授業をしてもらい、一緒に授業を考

高岡 直美

問 軽度発達障がい者に巡回指導を

答 今後、検討していく

問 普通学級に在籍する小学生の中で、支援を受けずに苦しんでいる生徒が9・8%。早期の療育指導が重要である。

教育長

保育園で専門の先生による定期巡回指導を実施し、保護者の相談にも乗ってもらってはどうか。

問 クールスポットを設置しては。

総務部長

今ある公共施設等、先進地の事例を確認しながら、前向きに考え

たい。

問 幼稚園での一時預かり保育時、お昼寝の部屋が高温である。クーラーを設置しては。

教育次長

前向きに検討する。

※デジタル教科書
読むことが困難な子ども等を支援する目的で作成されたデジタル版の教科書のこと

問 読みが困難な児童・生徒に、無償でダウンロードできるデジタル教科書を活用し



預かり保育でお昼寝をする園児

河本 裕志

問 特別警報への対応は

答 防災無線等での周知を考えている

問 気象庁は今年8月30日に特別警報の運用を開始し、発表されたら「直ちに命を守る行動をとってください」とある。命を守る行動とは、どうすれば良いのか。

危機管理部長

例えば、1階に床下浸水の状況があれば、2階に逃げるなど、自分で自分の身を守る行動を考えていただきたい。

問 市民にどのように周知徹底していくのか。

危機管理部長

特別警報についても、市の防災行政無線、広報車、ホームページ、

メールマガジン、緊急速報メール等を活用した市民への周知を考えている。

問 危機管理マニュアルに、生徒が校舎にいた場合、また登下校中、自宅にいた場合の3通りで場合分けした対応のマニュアルを

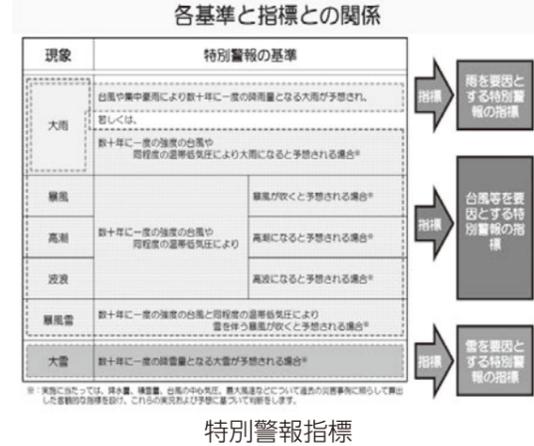
市役所 作成とあるが、具体的にはどうするのか。

教育長 警報発令時にどうするのかも検討していく。

問 時間あたり雨量が100mmなどの場合、職員を派遣しても大丈夫か。

市長

市役所が対応できること、できないことを見極める必要がある。



原野 健一

問 荒廃した農振地域の見直し計画は

答 次回29年度に見直しの予定である

問 1次産業を振興するためには、6次産業への移行、つまり農家が農産物の生産から加工、販売まで手掛け、できれば自家製の農産物で作った食事を観光客等に提供する。そうした事業を活性化

する必要があると思う。農地を守る事が大前提ではあるが、農業者を守る事も急務である。6次産業化に必要なあるなら、農振地域の網のかかった農地でも、荒廃した場所に限り見直し計画をしては。

産業建設部長

農地の利用計画は、瀬戸内市農業振興整備計画に定めている。5年に1度、計画全体の見直しを行っている。

が、次回は平成29年度の予定である。

市長

農振地域に6次産業の企業誘致をと、農政局と交渉した経緯もある。残念ながら今現在では、そうした前例もなく、やむを得ない結果に終わっている。耕作放棄地の状況と担い

手の関係を見極め、荒地の解消に取り組みたい。

問 市のマスコット「セッコちゃん」を改良しては。

市長

制約がありむずかしい。



県道に面しているのに荒れた農地

馬場 政教

問 市内循環バスの計画は

答 費用対効果を検討し方針を示す

方針を示す。

問 モーモーバスの実証運行期間を来年3月末まで延長するが、どのようなことを検討し、結論はいつ出すのか。

総合政策部長

受益者負担を原則とする各下水道施設の必要経費と、繰出金のバランスはどのようになっているのか。また、平成28年には企業会計に移行するが、どのように考えているのか。

上下水道部長

下水道全会計で必要経費の約73%を、一般会計からの繰入金で補填している。

市長

一般会計からの繰入金増加については、重要な課題として起債の償還のピークへの対策を講じていきたい。



活躍が期待されるモーモーバス

石原 芳高

問 監査報告書を踏まえた行財政改革を

答 改善が出来るものから取り組みたい

問 地方自治体の監査制度の充実を図るために、国でも議論が重ねられている。そのような流れの中で、今議会に監査委員の意見書が示されたが、意見書の内容を踏まえた行財政改革を進めていくべきでは。

市長 指摘事項、意見については、謙虚に受け止めるべき点多々含まれている。是非とも改善に生かしていきたい。

問 「財政健全化が市の将来を左右する」と言っても過言ではない」と行政報告に書かれている。改善できるものは、今からでも取り組むべきでは。

市長

監査委員の意見を踏まえた、高い見識と判断が求められていると認識しており、できるものから取り組んでいきたいと考えている。

市長

前島の振興策、瀬戸内市の商工業の活性化に向けて、努力していかなければならないと考えている。

市長

これからも、市民の力をお借りして、地域の発展に活かせる方法を考えていく。

邑久中学校の生徒たちが、東北へ行きボランティア活動に参加しました。

議会としては、震災の教訓を忘れないこと、彼らの思いを形にすることを胸に、今後も活動をしてまいります。

ボランティア活動を通して、彼らが学んできたことをご一読ください。

東北のボランティアに行っ

＝瀬戸内市の子どもの活動を紹介＝



邑久中学校 2年 梶原 健生

被災された皆さんは、悲しそうな感じなのかと思っていましたが、全く違って元気そうにみえました。僕たちが来るのを楽しみにしてくださいました。一緒に折り紙を折っているときなども、みんなにこやかでも感動しました。

震災で家や家族をなくした方たちは、中学生の僕たちと元気に会ってくださるのか、震災のつらさを教えてくださるのか心配でした。でも、「このつらさや今の状況を邑久中に帰って伝えてほしい。君たちが経験したことのないこの震災を」と言われました。僕は後世にこの震災を伝えることが大切なんだと思いました。

被災地のがれきはまとまっていきました。テレビで見えていた様子とは違ってきれいでした。しかし、堤防は今も放置されたままで、次に津波がきたらどうなるのか心配です。

もう一度南相馬市に行けたら、街づくりにサロンにも参加したいと思いました。

邑久中学校 1年 池田 旭

ぼくが、東北のボランティアに参加した理由と行って思った事を紹介します。

2年前のあの時に家や家族を失っている人に対して、幸せに家で家族といっしょにいる自分ができることを探しましたが、そのときは募金しかできなくて、チャンスがないかと思っていました。

ボランティアに行く前、テレビなどで、被災地のようすを見ていました。しかし行ってみると全然ちがいました。原発の影響か、20キロ圏内は、かなりがれきが残っていたりしました。原発のこわさを少し知れた気がしました。このように、ボランティアと被災地の今を知るかんじでした。

被災者の方はものすごい努力と団結力で必死に復興しようとしています。被災者の方は、顔には出さないけれど、辛いのだとぼくは思いました。

今ぼくにできることは、これいろいろな人に伝えることだと思います。

邑久中学校 3年 池田ひなた

私は仮設住宅のサロンを訪れ、たくさんのお話を伺った中で、あるおばあさんの話が一番心に残っています。

「同じ被災者の中には、自分より辛い思いをしている人がたくさんいるの。だから自分がしっかりしないとね。」

その言葉に胸を打たれました。私は家族がない、家がない、食べ物がない、必要なものがないと困ったことがあります。学校に通え、話ができる友達がい、帰る家があり、待つてくれる家族がいます。今まではあたりまえと生きていたことが、本当はとっても幸せなことだったのです。

私は、被災者のみなさんの思いを無駄にたくありません。だから、地震がきたら必ず避難したいです。そして、自分の身の周りからできることを探していきたいです。

私は、あたりまえをかみしめて、何事もあきらめず、いつも前向きに、今の自分にできることを一杯していきたいと思います。

邑久中学校 2年 細中千沙希

私はボランティアに行く前、正直他人事のように思っていました。私達にとっては、遠い地方で起こった大震災。募金くらいしかできないと思っていました。でも、実際福島に行って、その気持ちが変わりました。

サロンに行く「孫が来てくれたみたいでうれしい。」と言ってくれました。私もすごく嬉しかったです。2日目も、「よく来てくれたね。」と、とても喜んでくれました。サロンでは、一緒に折り紙をしたり、歌ったり、似顔絵をかいたりしました。津波の話も聞かせてもらいました。涙目で話をして下さいましたが、私は強い人だなあと思いました。

私のように何の力もない一人の中学生でも、笑顔を見せてあげたり、話し相手になってあげたりすることは、少しでも元気の素になるのだと実感しました。一人一人は微力でも、みんなで力を合わせて助け合う事で、生きる力になるのだと学びました。機会があれば、またボランティアに参加したいです。

邑久中学校 2年 中島 綾香

私は、ボランティアで東北の人を笑顔にするという目標がありました。

テレビで見た映像から2年経った福島を知りました。津波にのまれ、辺り一面野原になっている元住宅街。ひどくねじ曲がったガードレール。人の住んでいない町。まだガレキが積み上げられている道路のわき。少し行けば普通に人が家に住み、お店が営業している。カメラのシャッターをきりながら、私は絶句してしまいました。

けれど、仮設住宅の集会所に行くと、自宅に帰れず、家族を亡くした方もいるというのに元気で来た。ただ、集会所に水をくみに来る人は元気がなく、暗い顔をしていました。

「これからの課題は、集会所にこない人たちとコミュニケーションをとることだ。」と言われた方がいました。ボランティアは2年経った今でも必要です。今回のボランティアで人を元気に笑顔にさせられる力と嬉しさを知ることができました。そのことをたくさんの人に伝え、ボランティアに行くという人を増やしたいです。

邑久中学校 2年 太田 海都

僕は福島へ行って色々な事を学びました。

一つ目は、テレビでよく見る光景と同じような所もあれば、あまり見ない光景の所もあったことです。

二つ目は、現地の方達の事です。津波により家を失った人も多く、その方達は仮設住宅に住んでいます。僕たちは、その仮設住宅の人達が集まるサロンへ行って、ボランティアをしました。行く前は、自分が元気がない人を元気にしてあげれるかと思っていましたが、行ってみるとみんな元気で、逆に自分が元気をもらうくらいでした。「ありがとう」と言われ、来てよかったと思いました。

僕は今回、人を支える事をしたと思えました。自分にとっていい経験になったので、行ってよかったと思えました。来年も行くこと先生が言っていたので、来年もまた行きたいなと思います。

邑久中学校 2年 鈴木 楨

とても、美しかった。福島で、つらい思いを乗り越えようと、笑っていらっしやった方々の笑顔はー。

8月、私たちは、いろいろなものを目にした。崩れた家、波をかぶって枯れた木、流された瓦礫、寸断された道路。2年以上経った今でも、痛々しい傷が残っている。

だが、そんな中にも、笑顔を見れない人たちがいた。私が、ボランティアをさせて頂いて一番驚いたのは、福島の方々の元気の良さだ。それはサロンに集まるお年寄りもそうだし、私たちを泊めて下さった民宿の方々もそうだ。みんな温かくて、すてきな笑顔の持ち主だ。そんな笑顔の輪の中に入れてもらえて、とてもうれしかった。

しかし、これからの課題はまだある。私たちがすべきことは、もっと理解を深めることではないだろうか。